

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

510-326

事務事業名	狂犬病予防事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	環境課			1	4	1	4	13	1	3,770
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり				包含する細々目							
施策	43 地域安全の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	狂犬病予防法						
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飼い主	飼い犬の登録数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			6650			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	狂犬病を予防する	狂犬病予防注射実施率(%)	18目標	94.5	最終目標	100
			18実績	94.5	19目標	95
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	集合注射を市内各地で実施し、市民の便宜をはかる。時期は1次を4月・2次を5月。状況によっては3次も実施する。	4月に第1次集合注射を実施(122箇所) 5月に第2次集合注射を実施(18箇所) 11月に第3次を実施(2箇所)	注射済犬数	6658
	18年度の実績			
	19年度計画	実施場所・時期の再検討に基づき、集合注射を実施		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	3,762	3,770
	一般財源	0	0
事業費計(A)	3,762	3,770	
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度 500
	臨時職員等所要時間	1,800	1,800
	人件費計(B)	3,723	3,723
	トータルコストA+B	7,485	7,493

特定財源内訳や補足事項	犬の新規登録手数料 狂犬病予防注射済票交付手数料
-------------	-----------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	犯罪被害の軽減(狂犬病感染)	被害者数	現状値	0	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 平成12年度から市の委任事務となった	事業を取り巻く状況の変化 18年度飯田市の狂犬病予防注射実施率は94.5%である。 昨年国内で2件狂犬病による死者がでている。	事業に対する市民や議会の意見
-------------------------------------	---	----------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 最近では狂犬病の発症例がなく、安心して暮らすことができる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 登録の変更届提出の徹底(死亡届・飼い主の変更・住所の変更)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 登録なしに飼われている犬を登録させる必要がある。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 近くに獣医師のいない地区では摂取率が低下するおそれがある。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由)		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 必要最低限の事務を必要最低限の費用で実施している
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 新規登録料 3,000円 注射代 3,220円

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	